



「飛鳥・藤原」を  
世界遺産に！

文化審議会世界文化遺産部会において、「飛鳥・藤原の宮都」が世界遺産登録への国内推薦候補として選定されたこと、大変喜ばしく思います。

「飛鳥・藤原」は、古代東アジアの諸国・諸地域との重層的な価値観の交流を通じて、律令制による中央集権国家が、どのように作り上げられていったのか、その過程を構造的に、具体的に示す稀有な歴史・文化遺産群です。「飛鳥・藤原」は、世界遺産一覧表の一層の充実に貢献するはずです。

これからも、「飛鳥・藤原」が持つ価値をさらに鮮明にしていくと共に、遺産群の確実な保存に向けての努力が求められます。加えて、世界の人々に、「飛鳥・藤原」の遺産群が持つ価値を正しく、魅力的に伝えていくために、遺産群の整備や活用、博物館や展示施設、案内施設の整備・充実などの取り組みを進めていかなければなりません。遺産群の周辺環境の保全に向けての取り組みも大切です。

世界遺産「飛鳥・藤原」登録推進協議会専門委員会は、国と一体となって、世界遺産登録に向けて一層の努力を重ねてまいります。

令和6年9月9日

世界遺産「飛鳥・藤原」登録推進協議会

専門委員会委員長 木下正史